

サイクリング道
路にトイレを

細野龍子(日本共産党)
「境川サイクリング道路沿いに、安心して利用できるトイレを早急に整備すべき。」
市長 西田のスポーツ広場のあたりについてまず焦点を充てて検討してみたい。
市長 南地域のコミュニティバスの早期運行を求める。
市長 金森方面は、道路整備も終わると聞いています。それを待って路線バスをぜひ入れたい。それが困難であれば、次の問題も考えなきゃいけないと思います。まず路線バス優先で、それ以上の結論はまだ持ち合わせていません。
市長 国の三〇人学級実施に向けた動きを、市長はどのようにつけていきたか。
市長 大変私も歓迎しているところですが、ただ、教室がふえることは明白ですから、国の方も対応してもらわないと深刻な問題が生まれると話をしているところではあります。



境川サイクリング道路

小山地域の中学
校建設について

佐藤伸一郎(新世紀・自民)
「小山地域においては、急激な人口増加・大きく変貌する生活環境の中、小学校が二校になり地域コミュニティの形成・地域の教育力という観点から「中学校建設」の時期が来たと考えるがどうか、早急に検討することを求める。」
教育長 小山地域の中学校用地は、既に小山ヶ丘地区に東京都から取得済みです。いっしょに建設するについては、将来の生徒数がどう推移していくかによって判断をしていくことになるかと思っています。この地域の開発状況に注視をしながら、適切に建設時期については判断していきたい。
市長 小学校をつくったばかりだけれども、当然その子たちが上がっていきましますから中学生を考えなきゃいけないと思います。町づくりの方向も確認をしながら、十分教育委員会ともども考えてみたい。

業者対策と市民
病院へバス便を

高嶋均(日本共産党)
「中小企業への融資対策を新たに検討すべきと思うが、環境・産業部長 新たな制度、融資項目を求める声は上がってきています。そういう意味で、具体的な検討はしていません。もしあればより検討をしていきたい。」
環境・産業部長 早い時期に産業振興の条例案を提案していきたい。商店の振興は、一商店街だけの問題ではなくて、町づくりそのものにかかわってくると思っています。総合的な取り組みが必要であるのかなと思います。
市長 鶴川から市民病院への直行バスは実現可能か。
市長 一番いいのは路線バスですが、難しいと思っています。いつから、どういう形になるかまではいえませんが、庁内で研究もさせてみようという気持ちではあります。

オオタカ保護に
行政指導を

佐々木智子(日本共産党)
「マシオン建設による環境破壊からオオタカを保護するため、事業者には生態調査を継続させガイドラインに沿った行政指導を行うべき。」
環境・産業部長 猛禽類調査の指針に従った調査を市は望んでいるわけで、工事中止等も含めた形で申し入れ、あるいは工法の変更、物によっては出てくるかなと思っています。
市長 工事着工後の大気汚染や騒音・振動被害を行政が調査把握すべきかどうか。
環境・産業部長 原因者がわかっていると、原因者のところで測定するのが必要でないかと思っています。
市長 町田市における「公団・公社」の団地政策を問う。
市長 賃貸の部分は居住者と住宅供給者との契約であり、自治体はその中に介入することは難しいと思います。

市は連合会を有
効活用すべきだ

佐藤常雄(公明党)
「商店会や町内会に対しては、市はできるだけ直接関わらず、上部団体に任せたり、組織のために、行政経費削減にもなるのでは。」
生活文化担当部長 ご指摘の点につきまして研究をしてみたいというふうに思います。
市長 廃校舎の九割が物置だが、有効活用できない行政責任はどこにあるのか。
市長 一回地という都市計画のたがががぶっていることが大きなネックです。十分利用されていない点は特に気にしている点であり、担当に指示をしているところです。
市長 市は議員の指摘、提案に対して狡猾な手を使うな。
加島助役 休日勤務手当を廃止し、現在、常態として土日に業務を行っている職場を対象に不規則勤務者業務手当を支給しています。今回廃止を考えているところです。

さい帯血採取を
市民病院で！

宮坂けい子(公明党)
「市民病院で、白血病治療や再生医療研究に必要な、さい帯血の採取を求める。」
市民病院総院長 将来、やっていくよう努力しなくてはならないと思っています。ただ、今のところ、とった後、分離し希釈し無菌の操作をし、センターに輸送するという手間の問題が解決してません。
市長 市民病院で、最適な栄養療法を提供する、栄養サポートチームNSTの実施を。
市民病院事務局長 NSTは今外科からまず立ち上げようと学習会を始めたところです。早い時期にすべての入院患者さんに対応できるように運営を行っていききたい。
市長 市民病院の、より豊かなサービスのためにも、町田市の独自の「急病医療情報センター」の設置を求める。
加島助役 中身を細かく精査し、研究していきたい。

終戦被爆六〇年
今憲法守るとき

殿村健一(日本共産党)
「アジアと日本国民の多くの人命を奪った日本の侵略戦争終結、被爆から六〇年。今憲法守るときだ。」
市長 我が国の平和主義を全地球上の方々に理解を促していただくようなことを一層進めべきだと考えています。
市長 学校と地域で子どもたちの命と安全を守るために、どんな対策を進めるか。
教育長 全小中学校に危険場所や子ども一〇番の家等を記入した地域安全マップ作成をお願いをしています。
市長 木曽山崎地域に子どもセンターを設置し、図書館を増設すべきかどうか。
市長 相原が設計に入り、忠生の子どもセンターは次なる計画として考えたい。木曽山崎の周辺には学校がいろいろ、図書館とか子どもとの関係は視野に入れながら考えていきたい。

市民病院の危機
管理体制を問う

友井和彦(市民派クラブ)
「災害発生時の医師等の勤務体制の不備を早急に是正し、災害指定病院としての機能を確保すべく東京都の責務を遂行させよ。」
市民病院事務局長 マンパワの確保が大きな課題です。
加島助役 災害拠点病院としての位置づけは都でどうなっているかが重要であると強く言っています。
市長 市民活動支援についてミニ公募債の発行や一〇程度の市民税の使途を納税者に選択してもらう制度を創設してはどうか。
加島助役 町田市にあったスタイルの資金面での支援体制について考えていきたい。
市長 サマータイトム制度を導入せよ。
市長 やるなら全国一斉でないと効果を発揮しないと思いますから、国のレベルで考えてほしいと思っています。

戸別収集導入の
視点到異議あり

吉田つとむ(自由民主党)
「戸別収集の導入は、戸建て、アパートの差別を生じ、狭い道路での交通渋滞が懸念される。それでよいのか。」
牧田助役 戸別収集という基本的な考え方は、一棟で一カ所を集めていきたい、こういう形で進めています。
清掃事業部長 その中で道路が狭いところは、調整をしながら整理していきたい。
市長 議会の意見を受けて、

用語の解説

本文中の青文字の解説です

NST (Nutrition Support Team) 【4面】

医師、看護師と薬剤師、栄養士などが連携し、患者の栄養管理を行い、最適な栄養療法を提供し、患者自身の自然治癒力を上げ、免疫力の向上や院内感染の減少などを旨とするプロジェクト。

議会用語の解説

【定例会】 年4回定期的に開かれる会議をいいます。町田市では3月、6月、9月、12月に定例会を開催します。

【臨時会】 必要に応じて開かれる議会です。前もって付議事件を告示しなければなりません。

【附帯決議】 議案を議決するにあたって、議会の希望意見として付すものをいいます。法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

指定管理者制度

指定管理者制度とは、多様化する住民ニーズに応えるとともに、より効果的、効率的に、「公の施設」(住民の福祉を増進する目的で、公共の利益のために設置する施設。体育施設など。)の管理運営を行うために、民間のノウハウ・能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、管理経費の節減を図ることを目的とするものです。

従来、公共性の確保の観点から、「公の施設」の管理は、公共団体、公共の団体、地方公共団体の出資法人で政令で定めるものに限定して委託することができるとされてきました(管理委託制度)が、地方自治法の改正により、民間事業者も含めた幅広い団体に委ねることが可能となりました。

傍聴を希望される方は市役所五階の

義塾大学

本会議のインターネット放映を行っています。